

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第324号 平成11年12月



『雨のポンペイ』 内山 大

目 次

	頁		頁
1. 多摩地区医師会懇親会	広報部 … 2	9. 地区だより	
2. 理事会報告	広報部 … 3	あきる野地区	樋口昭夫 … 20
3. 会員通知・医師会の動き	事務局 … 7	10. 同好会短信	
4. スイスの旅の思い出から	堤 次雄 … 9	ゴルフ部だより	田村啓彦 … 21
5. 多摩医学会講演会	広報部 … 11	写真部だより	田村啓彦 … 22
6. 西多摩健康フォーラム'99開催		11. 文芸随筆諸事百般	
	広報部 … 12	短歌 初冠雪	鹿野純一 … 22
7. 西多摩三師会市民講座開催		12. お知らせ・訃報	事務局 … 23
	広報部 … 12	13. 表紙のことば	内山 大 … 24
8. 各部だより		14. あとがき	… 24
学術インフォメーション	学術部 … 13		

平成11年度多摩地区医師会懇親会

毎年恒例の多摩地区医師会懇親会が、平成11年11月27日(土)、パレスホテル立川・ローズルームにて開催されました。

本年度は立川市医師会が当番幹事で、横山稔立川市医師会会長の挨拶に始まり、都医師会長・国会議員・都会議員・都衛生局長・立川市長の来賓祝辞、来賓紹介、お祝いの歌につづいて、遠藤俊一都医師会代議員会議長の音頭で乾杯が行われました。

国立音楽大学声楽科教授の独唱、同大器楽科学生フルート四重奏、マジックショーなどのアトラクションもあり、会は盛大に進行しました。

西多摩医師会よりも、宮川栄次会長はじめ、多数の役員が出席し、他地区の方々との親睦を深めることができました。

次年度は西多摩医師会が当番で、宮川会長が次期当番会長挨拶を行い、開催へ向けての抱負を述べました。

(広報部)



次期当番会長挨拶 宮川会長



会場風景



国立音楽大学器楽科 フルート四重奏

多摩地区医師会懇親会次第

司会：石亀美夜子

開会の辞

立川市医師会副会長
川野辰夫

当番会長挨拶

立川市医師会会長
横山 稔

来賓祝辞

東京都医師会会長
佐々木 健 雄 様

衆議院議員
山本 譲 司 様

参議院議員
武 見 敬 三 様

東京都議会議員
宮 崎 章 様

東京都衛生局長
今 村 皓 一 様

立川市長
青 木 久 様

来賓紹介

お祝いの歌

国立音楽大学声楽科教授
菅 家 美保子 様

乾杯

東京都医師会代議員会議長
遠 藤 俊 一 様

懇親・余興

次期当番会長挨拶

西多摩医師会会長
宮 川 栄 次 様

閉会の辞

立川市医師会総務
菅 家 克 彦

理事会報告

★ Information

11月定例理事会

平成11年11月9日

西多摩医師会館

【1】 報告事項**(I) 都医地区医師会長協議会報告**

(宮川会長)

1. 都医からの伝達

- (1) SIDS (乳幼児突然死症候群) に関するリーフレット及びポスターについて
正しい知識及び事故防止のためにこれらの配布に御協力下さい。
- (2) 平成11年度「東京エイズ予防月間」関連行事周知用ポスター等の送付及びシンポジウムの開催について
エイズに関する正しい知識の普及と感染者に対する偏見のない社会の実現のため11月16日より12月15日までを東京都エイズ予防月間と定め、シンポジウム等を行う。
- (3) 学校におけるインフルエンザの予防及び発生時の措置について
協力体制を確立し、学校医は感染予防のための措置及び患者発生時の措置等についてよく心得て置く必要がある。
- (4) 平成11年度日本医師会／日本学校保健会共催「学校保健講習会」について
H12.1.29(土) 10時より日本医師会館にて開催する。
- (5) 平成11年度日本医師会主催「乳幼児保健講習会」について
11月30日、日本医師会館に於て開催する。
- (6) 第1回「生命を見つめる」フォトコンテスト作品募集について
応募希望者は医師会まで。
- (7) コンピュータ西暦2000年問題について
現在も調査中で、10月18日時点の回答率は54.7%である。
- (8) 「医療とニューメディアシンポジウム」について
メインテーマ：「診療情報はだれのもの」～カルテ開示～
H11.11.18(木) 2時より お茶の水スクエアA館にて。
- (9) 都における看護職員養成に関する検討会(中間報告)概要について

(10) 老人保健施設の設置状況について

70施設。

(11) 訪問看護ステーション設置状況について

299施設。

2. 協議事項

なし。

3. 地区医師会からの報告

(1) 「練馬区医師会医療連携センター」及び「練馬区医師会ホームページ」の開設について

(練馬区医師会)

4. その他

(1) 介護保険ニュースについて

(II) 各部報告

(保険部) 10月27日、国保主務担当者と懇親会を開催。

減点の根拠など、情報交換を行った。

(唐橋理事)

介護保険連絡協議会 10月25日開催。

①介護保険単価の市町村での相違について

②主治医意見書の入手方法について

(大堀副会長)

(学校医部) 11月25日、学校保健連絡協議会が羽村市のコミュニティーセンターで予定。

(星野理事)

(III) 各地区会よりの報告

(各地区長)

(青 梅) 10月18日、役員会開催。休日診療の件は総会にて行う。

(福 生) 特になし。

(羽 村) 11月12日、地区会予定。

塩沢先生 喜寿、松田先生 古稀のお祝いを予定している。

(あきる野) インフルエンザ予防接種実施医療機関の案内につき、市役所健康課で広報するシステムについて検討。

(瑞 穂) 特になし。

(日の出) 特になし。

(IV) その他

○第75回多摩医学会講演会

11月20日(土) パレスホテル立川にて 午後3時より

○クリスマス会 12月20日(月) 昭和の森 フォレスト館

【2】 報告承認事項

- (I) 入会会員について — 承認 —
- (II) 青梅簡易裁判所 民事調停委員候補者の推薦について — 承認 —
 中林厚子先生辞退により土田守一先生を推薦する(留任)。

【3】 協議事項

- (I) 犯罪被害者ネットワークの協力依頼について — 承認 —
 青梅警察署より
 青梅・奥多摩犯罪被害者支援ネットワーク設立趣旨書あり。
 会員となり救援活動に支援協力する。
- (II) その他
- 日医生涯教育一括申請について (横田理事)
 西多摩医師会で一括して申請する。申告率アップに協力願いたい。
 西多摩医師会及び地区医師会主催の生涯教育講座内容一覧表(資料)。
 - 会費等の徴収方法の変更について (小机理事)
 メイン銀行のあさひネットに加入し、収納事務の合理化と省力化をはかる。
 又、会員の利便性の向上について検討する。詳細は今後報告する。

11月定例理事会

平成11年11月24日

西多摩医師会館

【1】 報告事項

- (I) 各部報告
- (學術部) 11月30日(火) PM7:30よりフォレストイン昭和館にて
 三公立病院學術講演会。
 - 12月18日(土) PM3:00より羽村市コミュニティーセンターにて
 市民健康講座開催予定。(横田理事)
 - (総務部) 11月27日(土) 多摩地区医師会懇親会
 PM6:00 パレスホテル立川にて開催予定。(玉木理事)
- (II) 各地区会よりの報告 (各地区長)
- (青梅) 12月9日 忘年会予定。
 - (福生) 特になし。
 - (羽村) 12月10日 忘年会予定。
 - (あきる野) 11月15日 主治医意見書勉強会。12月9日 忘年会予定。

(瑞穂) 特になし。

(日の出) 12月15日 忘年会予定。

(Ⅲ) その他

福生病院の名称選定外部選考委員の就任承認の件

平成13年4月に公立病院としてスタートする、福生病院の名称選定に当たり、第三者の立場で公平に判断する外部選考委員の一人として西多摩医師会事務長を選出。

(福生病院移管準備室)

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について

— 承認 —

【3】 協議事項

(I) 西多摩地区介護保険協議会設置要綱(案)について

— 承認 —

西多摩地区介護保険協議会設置要綱(案)

1 設置

西多摩地区内の市町村(以下「市町村」という。)および社団法人西多摩医師会(以下「医師会」という。)は、円滑な介護保険事業の実施および住民の健康と福祉の増進を図るため、西多摩地区介護保険協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

2 所掌事項

協議会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 市町村が所管する介護保険事業に関すること。
- (2) その他必要な事項に関すること。

3 組織

協議会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 医師会を代表する委員 若干人
- (2) 市町村の介護保険担当課長

4 役員

協議会に委員長及び副委員長ならびに幹事を置く。

- (1) 委員長および副委員長は、医師会を代表する委員が就任する。
- (2) 委員長は、協議会を代表し会務を総理する。
- (3) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。
- (4) 幹事は、市町村の介護保険担当課長を代表する委員2人がその任に当たり、委員長を補佐する。
- (5) 委員長および副委員長の任期は2年とし、幹事の任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

5 会 議

- (1) 協議会の会議は年2回以上開催し、委員長が招集して、委員長が議長となる。
- (2) 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴くことができる。

6 庶 務

協議会の庶務は、医師会事務局において処理する。

7 その他の事項

この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、その都度協議会において定める。

(II) 平成12年度第2回定時総会迄の日程(案)について

(III) その他

- 新年賀詞交歓会招待者について (青梅市福祉センター)

平成12年1月22日(土)

- 武蔵村山市医師会

徳州会病院の進出計画について

会員通知

- 学術講演会 (11/10)
- " (11/17)
- クリスマス会案内
- 産業医研修会 (江戸川区医師会)
- " (日本医科大学)
- 会報
- 多摩医学会パンフレット
- 乳幼児保健講習会申込について
- 市民健康講座ポスター
- 西多摩健康フォーラム
- ポスター (退職者医療制度)
- 平成11年度第2回「認定産業医」新規申請について
- 診療情報の提供に関する指針
- 口腔及び摂食、嚥下障害の知識
- 痴呆が疑われたとき
- 産業医研修会 (本所、向島、墨田区医師会、葛飾区医師会、目黒区医師会、中央区医師会)
- 学術講演会 (12/8)

スイスの旅の思い出から — マッターホルンを見た —

堤 次 雄

5年前の夏、パリからベネチアに飛んだ時のことである。私は旅も終りに近くなり疲れてうとうととしていたが、何やら騒がしくて目が覚め窓外を見た。灰白色の雲海を突き破って立つ雪を被った巨大な入道頭の岩山が見えた。「あれは何だ」と思わず声がでた。前方の席の話声にマッターホルンの声を聞いた。

これが有名なマッターホルン(4478m)か。

さすが迫力ものであるな、と思った。この時から、いつの日にかこの山の頭だけでなく全体を見たいと思ったのだった。

1997年9月、スイスの旅に出た。

チューリッヒから列車に乗りイタリア国境に近い町ルガーノに向った。列車は川沿いに山麓を走るのだが、川を下に見ての景色は御岳、奥多摩間のような連想もちょっとはしたが、川岸から牧草が山腹まで生え樹木は少なく上の方は尖がり岩山がずっと続く風景は、やはりスイス独特のものであろう。

ルガーノの駅は岡の上であって、駅前のケーブルカーで下りると町の商店街だった。

ホテルは山腹であって、元スペイン皇太子の別荘を改装した建物と聞いた。閑静で品のよいホテルでロビーから裏庭に出ると霏がかかったルガーノ湖が見えた。

翌朝、フロントの女性に明日からの予定を話すと、女性は私を見て妻に、「大きな荷物をもって山岳鉄道を乗り換えしながら行くのは大変です。遠回りになるけどミラノ経由が楽です」と言い私には「ね、ドクトーレ、楽な方がいいでしょ」と笑顔で言った。彼女には私達が余程くたびれた老人に見えたのだろう。

私は優しい顔の女性の言葉にどうも弱い。「うん、そうすっか」と直ちに初志は砕けて気持ちが安易な方に流れてしまうのだった。

(しかし、旅を終えたあと、「折角スイスに行ったのだ。苦勞しても名物の山岳鉄道や氷河鉄道に乗るべきだったな」と少し悔んだが、

優しい顔の彼女を恨む気持ちは全くなかった。)

彼女に、ツェルマットのマッターホルンがよく見える宿と列車の予約を頼んだ。

ルガーノ湖畔、公園、商店街を散策し、帰りに駅に寄り予約の切符を駅員に求めると、彼は、「さっき代理の人が来たので渡しました」と言う。ホテルのサービスの良さにさすが観光立国スイスだ、と感心した。

ツェルマットはマッターホルン登山基地で、それに相応しく乗物は電気自動車か馬車しか駄目である。町にはガソリン臭は全くなく空気の清浄と旨さをあらためて感じた。

ホテルに着くとすぐ展望台に出た。雲が多く天気はよくないが、雲の流れが早い。雲の切れ間からマッターホルンの巨大な頭が見えたと思ったら隠れて、2、3分したら今度は上半身を現した。兎に角、ちらっ、と見せたり大胆であったり、隠したり、と目まぐるしいのだ。上半身を出した時、山の天辺にかかる筋状の雲がなびき、まるで頭から白煙を吹き出しながら地球から宇宙に向かって今にも飛び出さんとする怪獣のように思え、躍動感、豪快さの迫力には圧倒された。さすがスイス随一の名山だ、と納得したのだった。

ヨーロッパ出張のついでにマッターホルンが見たくて来たという鹿児島男性と展望台で会ったが、彼は「昨日来たのだが全く見えず、見えたのはさっきからで、あなた達は来て直ぐ見たのだからラッキーですよ」と言った。

ずっと天候に恵まれず無念の思いで帰る人もあろう。私達も、マッターホルンの全容とはいかなかったが幸運であったと思っている。

夕食時にウエーターがワインの小瓶を持って来た。「ナイン。わしが頼んだのはでかいのだよ」と言うとな彼は「あなたの顔を見た時に飲み手と思っていたのに、どうしたことか」と大して恐縮した風でもなく大瓶と取り替えてグラスについだ。「マッターホルンを見ての

カンペーですか」「ナイン。カンペーは中国人。日本人はカンバイだ」と教えてやった。

やっと会うことができたマッターホルンに乾杯。

荒城の月

インターラーケンでは、ツェルマットと違って雲間が広く天気恵まれた。

この町はスイスが誇る名山群の、アイガー、メンヒ、ユングフラウの登山基地で、夏場は観光客で賑わうようである。

ホテルに着いた夜、フロントから「明朝、ユングフラウヨッホの観光に参加しないか」と電話で誘いがあったが断った。念願のマッターホルンを見た満足感の余韻もあったし、疲れてもいる。急に高所に行って高山病になり、これ以上に頭がいかれたら馬鹿みるではないか。が断りの理屈である。しかし、『何事にも消極的になったなあ』としみじみ年を感じたのだった。朝、町の乗船場からトゥーン湖の定期船に乗った。湖畔の部落を巡りながら終点のトゥーンに着くのである。湖面は深い青緑色で波もなく綺麗だった。岸边には数隻のヨット、その奥に樹林や牧草の広がり、木組み壁の家、更に上段に尖った岩山。その背後に青空をバックに陽光を浴びて白銀色に絢爛の化粧をした、アイガー、メンヒ、ユングフラウ、の三山が横に並んで見えたのだ。

湖からのこの景色は素晴らしい一言に尽きる。自然の美に勝る美はない。この景色は私を船のデッキに釘づけにした。

「ユングフラウ」とは何ていい名前の山だ。

私に清純と神秘性、の想いを抱かせる。

トゥーン湖からの名山達を眺める景色は、J. ヨッホに行かなかった分の代償は十分していると思った。『これは正解だったよ』と自身に言い聞かせたのだった。

夕暮近くにインターラーケンの商店通りや、裏の小道、小公園附近を歩いたが、どこにも、ばい捨ての空き缶やペットボトルは見かけず町全体が清潔に感じた。散歩の帰りにホテル近くのプロムナードに馬糞の一塊があった。だが、これは許せる。パリの裏通りの放蕩犬達が所かまわず落としたものと訳が違う。

私は踏んづけたことがあり、「飼い主は怪

しからん」ぶつくさ言いながら歩いた覚えがある。馬の場合は、労働中に何かの拍子で腹圧がかかり過ぎ、つい粗相となったのだ、と好意的になるのだった。

夜、ホテルのレストランに行く時、レストラン前のホールでは中年男性のピアニストがクラシックの曲を演奏していた。テンポがよく心を和ませる曲だった。客は誰も居なかった。私達は壁際のソファで暫く聞くことにした。その曲が終ると、滝廉太郎の「荒城の月」を弾き始めた。これは明らかに私達のためにだった。哀調のある美しいメロディーは私の胸をじーんと熱くした。次に同じく廉太郎の「花」が続いた。昔、近所の女学生がよく歌っていたが、セーラー服姿の彼女を思い出し懐しかった。曲が終って私達はピアニストの傍に行き、ダンケシェン、と礼を言うと笑顔が返ってきた。30年以上前の新聞の記事だったと思うが、その人がドイツを訪れた時、ピアホールに行ったら、ジョッキ片手の客人が来て、「日本人か？」と聞かれ、「そうだ」と答えたら数人の客がジョッキを持ちながら「荒城の月」を合唱して歓迎してくれ涙が出るほどの感激だった、との記事を覚えている。特に外国で聞く「荒城の月」は胸を熱くさせる。また、外国人に日本の歌曲の中で最も知られているのが、この歌ではないだろうか。

滝廉太郎は、1903年、23才の若さで没した。「荒城の月」は21才の時の作品で、日本で初めての洋風歌曲とのことである。

スイスの旅が終わり、私に感動の思い出をくれた滝廉太郎と、「荒城の月」を演奏してくれたホテルのピアニストに感謝したのであった。



マッターホルン

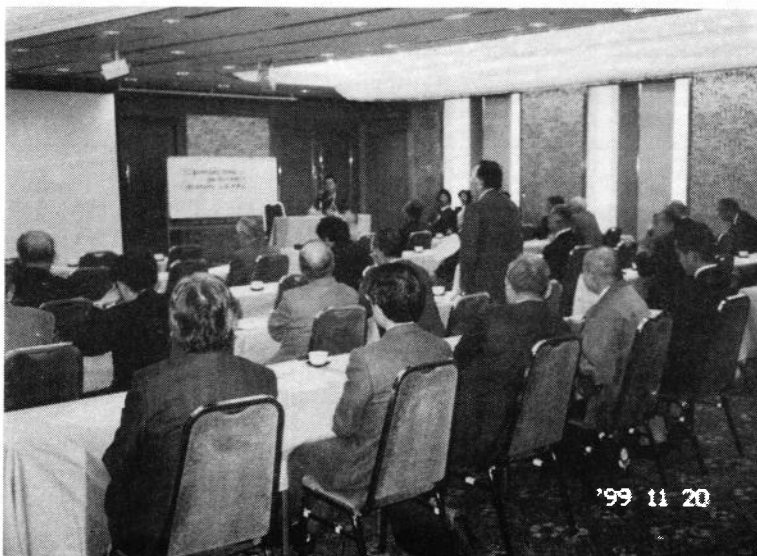
第75回 多摩医学会講演会開催

第75回多摩医学会講演会が、平成11年11月20日(土)、パレスホテル立川にて開催されました。

村田欣造三鷹市医師会長の挨拶につづいて、13演題の学術発表があり、熱心な質疑応答が行われました。

西多摩医師会会員関係では、

- 学童期腰椎分離症の2 治験例をMRI による腰椎分離症の早期発見
..... (高木病院・整形外科、栗原卓也先生 他)
 - 急性期病院における脳卒中リハビリテーション
—坐位能力の違いによるADL経過—
..... (青梅市立総合病院・リハビリテーション科、中島英樹先生)
 - 早期病毒性肝炎の1 例
..... (高木病院・泌尿器科、藤野淡人先生 他)
 - 地域での栄養士紹介システム—11年の経験—
..... (西東京臨床糖尿病研究会、高村 宏先生 他)
- の4 演題が報告されました。



西多摩健康フォーラム '99 開催

西多摩健康フォーラム '99（実行委員会会長・宮川栄次西多摩医師会長）が、平成11年11月20日（土）、あきる野市の秋川ふれあいセンターで開催されました。

地域で健康づくり活動に関わる団体や住民の方々約400名が参加し、分科会等で熱心に「健康なまちづくり」についての議論がなされました。

特別企画では、スライド上映による「健康なまちづくり」と生活衛生についての説明が行われました。

また、展示コーナーでは、健康づくり推進員の活動報告やボランティアグループの配食サービスの食事等が展示され、多くの参加者が見入っていました。



西多摩三師会市民講座開催

平成11年11月20日（土）午後2時より、羽村市コミュニティーセンターにて、西多摩三師会主催の市民講座が開催されました。

河合クリニック院長の河合 洋先生を講師に「なぜ今学級が崩壊する？」をテーマに講演を行っていただきました。

不登校、学校嫌い等も含めて、「子供が抱える心の問題」について、その背景と問題解決へのかかわりについて言及され、示唆に富む話に多くの参加者も熱心に聞き入っていました。

各部だより


学術部
Information

<学術講演会聴講メモ (1)>

平成11年10月20日(水)

演題：日常診療における種々の痛みの治療について

－1000mw半導体レーザーの治療効果と生理学的証明を含んで－

講師：日本大学麻酔科学教室 教授 小川 節郎 先生

ペインクリニックにおける半導体レーザーの応用は1992年には5.4%、1996年には31%、1998年には51%にまで増加してきている。

ペインクリニックにおける半導体レーザーの応用

- | | |
|---------------|--------------|
| 1) 腱鞘炎に対して | 今まではステロイドの局注 |
| 2) 帯状疱疹に対して | 今までは硬膜外麻酔 |
| 3) 筋緊張性頭痛に対して | 今まではツボ(天柱)局注 |

新鮮帯状疱疹に対する低出力レーザー照射の効果硬膜外麻酔と比較すると、痛みに対する scale のVAS (Visual Analogue Pain scale) が0までになる日数はレーザーが17.6±13.1日に対して硬膜外麻酔は36.4±25.4日と明らかに低出力レーザー照射が勝っていた。

低出力レーザー照射の有効例と無効例について

1) 有効例

筋骨格性疼痛に対して trigger point に照射

腱鞘炎

頸肩腕症候群

筋筋膜性

肩関節周囲炎

2) 無効例

神経原性疼痛

低出力レーザーの作用機序

1) 血流増加作用

Na^+ Ca^{++} ATPase の活性化

交感神経反射の減弱

軸索反射による血管拡張

2) 神経伝達の抑制作用

低出力レーザー照射により痛みだけを抑制する。

痛みを訴える神経にのみ抑制効果があり、運動、触覚の神経は抑制しない。

硬膜外麻酔では時に運動神経も抑制してしまう。

3) 抗炎症作用

白血球接着因子の抑制

IL 1の量の抑制

アトピー性皮膚炎症にも有効

4) 光生体刺激作用

皮膚科領域の潰瘍治療（褥創、ASO による潰瘍など）

潰瘍周囲にレーザー照射をすることにより細胞の賦活化作用

レーザーが今後ますます応用されていくと思われる良い例として、顔面の三叉神経第1枝領域の帯状疱疹の疼痛に対するレーザー照射の効果が挙げられる。今までは星状神経節ブロックが行われていたが、血中に局麻酔が少しでも入ると脳へ拡散してけいれんや意識障害を引き起こすが、これに対してレーザーは星状神経節に向かって照射することにより何の合併症も引き起こさず鎮痛効果が得られる。

なぜ今レーザーなのか？

- 1) 多くの著効例がある
- 2) 基礎的研究成果の蓄積がある
- 3) 慢性疼痛患者が増加する
- 4) 患者にやさしい医療、特に重篤な合併症がない
- 5) 現在、保険点数は35点

(文：森本 晋)

〈学術講演会聴講メモ (2)〉

平成11年11月10日(水)

演題：いまなぜ結核か

講師：財団法人結核予防会 会長 島 尾 忠 男 先生

結核緊急事態宣言と今後の結核対策

1. 結核緊急事態宣言

平成11年7月26日に開かれた「結核対策連絡協議会」の際に、宮下厚生大臣自ら発表緊急事態宣言が出された背景

憂慮される最近の疫学的な状況

- 平成9年度の結核新登録患者数が38年ぶりに、罹患率は43年ぶりに前年より増加
- 結核集団感染の発生数の増加と発生場所の多様化

- 結核院内感染の多発
- 多剤耐性結核の存在
- 今が次の世紀に結核を征圧できるか否かの分岐点
- 再興感染症としての結核に対して、新たな視点に立った結核対策に、関係者一丸となって取り組むことが必要

今後の対応

厚生省は、関係省庁、自治体、関係諸団体と連携しながら、次の施策を実施

- ① 一般国民に対する結核に関する正しい知識の提供
 - ② 医学教育における結核に関する正しい知識の提供など卒前教育の充実
 - ③ 生涯教育を通じて、総ての医師を対象とした結核の基本的な知識の再確認
 - ④ 結核診療技術の向上と最新情報の提供
 - ⑤ 結核研究所、国立療養所、大学病院など、結核の診療や研究の拠点的な機関を活用した専門家の養成
 - ⑥ 保健所など関係行政機関における結核に関する知識・技能の普及
- ② 緊急事態宣言に関連し、医療機関へのお願い
- 結核患者の早期発見：新登録患者の大半は、有症状時の医療機関受診で発見。咳や痰が持続する患者には胸部X線検査、有所見者には痰の結核菌検査（結核を鑑別診断の対象に加えておく。結核菌の早期の検出や同定に核酸診断法、MGIT法などの活用）。
 - 発生患者の届け出（2日以内）：接触者の検診（感染に暴露された恐れのある者の検診と感染源患者の探求のために実施）を行うために必要。
 - 発見された患者を確実に治すこと：新しい強力処方（2 INH・RFP・PZA・EB/4 INH・RFP・（EB）の活用による治療期間の短期化（中途脱落の減少）。入院治療が望ましい症例の病院への紹介（重症例、合併症のある例、耐性例、外来での服薬が不確実な例など）。服薬が不確実な症例に対する保健所と連携しての確実な治療の実施。
 - 医療機関の職員で結核になった者の早期の発見：健康診断の励行と、咳や痰が持続する時の早期の受診。

2. 正しい知識を普及することの重要性

適正な、正しい行動の基本は正しい知識

対象は一般国民だけでなく、保健医療職、行政関係者、教育関係者、マス・メディア
誤った知識による誤った行動は、結核に対する偏見を助長する

一般国民にみられた事例

- 学校での集団発生で、発病予防のため抗結核薬を服用している者を患者扱いにしてのいじめ

- 大学での集団発生で、大学所在地の一般住民の反応：集団感染と関係のない同じ大学の学生を「下宿させて大丈夫か」、「アルバイトに雇って大丈夫か」など
- 大学での集団発生で、企業の反応：集団感染と関係のない同じ大学の学生で就職内定者に、「あらためて健康診断書を提出させる必要はないか」など
- 大学の集団発生での大学側の対応：接触者を対象に約300名の検診を行った他に、全学生に対するツ反応検査を行うことにした

医療機関側で起こった事例

- 近く出産予定の妊婦に対して、ご主人が結核と分かった際の病院側の対応：妊婦本人が健康診断を受ける際に、「時間外に裏口から受診するよう指示」、「出産前後の在院期間を短くするために陣痛促進剤の使用を示唆」、健康診断の結果ツベルクリン反応は陰性で、胸部X線所見は異常がなかったのに、「出産中にマスクを着用するよう指示」、「産後1ヶ月の健康診断に、時間外に裏口から受診するよう指示」

基本的に大切なこと

- 感染と発病の区別：感染者の内発病するのは10人に1人
- 患者の中で感染性の者と非感染性の者の区別：感染源として危険なのは感染性患者（肺に空洞があり、痰を調べると結核菌が発見され、咳をしている患者）で、特に発見される以前の患者。感染性結核患者でも、発見後適切な治療が行われると、大半は治療開始後2～3週で感染性は失われる。主治医の許可を得て退院後通院治療中の患者、軽症で発見され、初めから外来で治療中の患者は、感染源となる恐れはない。
- 感染を防ぐ手段：患者の早期発見と適切な処方による治療、患者の確実な服薬、患者が排菌し、咳がある時期のマスクの着用または咳をする時に口元をティッシュで覆うこと、その時期の面会の制限、病室の換気を良くすること

3. 日本の結核の特色

世界との比較

先進国と比べると、罹患率は著しく高い

- 欧米先進国の罹患率は低く、その中でも自国生まれはさらに低い

年齢別の比較

- 日本の小児の罹患率は先進国並み：BCG接種の効果
- 老人の罹患率は日本が著しく高い：欧米では19世紀から結核が減少、日本で減り始めたのは1945年以降（1945年頃の欧米諸国の結核死亡率は人口10万対で50前後、日本は200。蔓延状況に20～30年の開き

罹患率の動向

- 1970年代後半から減少が鈍化、1997年に前年より増加。1998年もさらに増加
20歳代の罹患率が30歳代より高い傾向が持続

○塗抹陽性肺結核患者の発生は近年微増、70歳以上では急増、発生患者数も増加。
1998年もこの傾向持続

○新登録患者中の塗抹陽性例の割合の増加

既感染率からみた傾向

○高齢者は既感染率が高く、中高年では免疫低下者も多い

○若年者はほとんどが未感染者、健康的でない生活（不必要なダイエット、夜更かしと睡眠不足など）をする者が少なくない

○全く対策のやり方が異なる高齢者と若年者が同一地域（世帯、職場など）に居住（同居、同室など）

職業別の観察

○若年者自身または若年者と接触する職業に従事する者からの排菌患者の発生は減っていない

○小零細企業での検診は不徹底

集団感染の多発と多様化

○件数の増加と、発生場所の多様化：幼稚園、保育園、学校から、事業所、施設、病院へ拡大

○事業所、施設、病院での集団感染では発病例が増加

○院内感染が多発

○多剤耐性菌による事例あり

○看護婦の発病は同年齢女子の2～3倍、結核菌検査従事者の発病率も高い

○対策マニュアルの整備は半数弱（結核病床ありの施設で49.2%、なしの施設で40%）

○安全キャビネットなど防止策の実施も不十分（キャビネット使用29%）

○採用時ツ反応検査の実施も少数（実施23%）

結核患者の把握状況

死亡診断書での死因が結核死亡例の届け出状況（愛知県の調査）

○1992～94年の調査で65%

○無届け例の病状：明らかに感染性42%、感染性疑い46%、感染性なし12%

接触者検診

実施状況不十分

4. 今後の対応

最近までの結核対策は EBM (Evidence based medicine) の典型例

○初感染発病学説の完成：戦前の日本では、青年期に初感染を受け、それに引き続き発病進展し、死亡する者が多かった

○岡治道先生の初期変化群に関する病理学的な研究

○小林義雄先生の海軍水兵を対象とする研究ツ反応：入隊時ツ反応陰性者に繰り返しツ反応を実施、陽転者の追求

○千葉保之、所沢政夫先生による国鉄職員を対象とする研究：ツ反応陽転者の胸部X線検査による追跡

これに基づく結核対策の確立（4原則）

- 感染予防：当時は患者数が多すぎ、病床は極度に不足し、実施不可能
- 発病予防：感染前に BCG を接種し、免疫を付与。ツ反応陽転者の養護（後に化学予防に発展）
- 早期発見：X線間接撮影法が1936年に開発され、集団検診が実施可能
- 患者の治療：当時は自然療法と一部人工気胸

日本学術振興会第8小委員会による BCG 接種についての共同研究

発病、再発の頻度に基づく活動性分類の制定

- どの程度の病状の者を治療し、定期的な観察の対象とするか
- 病状別にみた治療を終了する時期

化学療法の処方に関する無作為割り当ての臨床研究

今後の研究の中で解明されるべき課題——これからの結核対策を EBM とするために

- 中高年者にみられる結核発病の機序の解明：初感染発病、外来性再感染、内因性再燃の割合。この解明には、老人施設などで入所時の検査（ツ反応と胸部X線検査）を行い、前向きに観察する研究が必要
- BCG 再接種の効果：保健医療職の結核発病防止のために必要
- 中高年のハイ・リスク・グループの発病防止：化学予防の効果と副作用に関する研究
- 新しい診断技術：活動性結核の血清診断法、薬剤耐性の早期の検出
- 新抗結核薬の開発：初回治療での治療期間の短縮、再治療の強化、多剤耐性結核の治療のため
- 新しいワクチンの開発：初感染時の発病防止だけでなく、できれば既感染者からの内因性再燃の阻止を含めて

結核対策の強化

- 高齢者対策：ハイ・リスク・グループへの化学予防
- 社会経済的弱者への対策：検診の強化と DOT (Directly observed treatment) を含む治療の徹底
- 院内感染対策：ガイドラインの作成とその普及
- 接触者検診の強化：届け出時の積極的な対応
- BCG 接種：初回接種の接種率と技術の向上
- 医療関係者の結核への認識の強化
- 一般国民への正しい知識の普及
- 新しい技術の研究と開発
- 外国人結核問題への備え：国際強力の強化は、危険を元から断つ方策

西多摩医師会主催

市民健康講座「食物アレルギー」

— 子供達に安全な食事を —

最近、食物にアレルギーをもつ子供達が増えているようです。まれにショック症状をおこす子供もいます。家庭内のみならず、保育園、幼稚園、学校において注意すべきことなど専門家にお聞きしましょう。

講師：同愛記念病院小児科部長 向山徳子先生

日時：12月18日(土) 午後3時～5時

会場：羽村市コミュニティセンター3階ホール（市役所隣）

入場無料



『忘年クリスマス会』

12月20日(月)
午後7時30分～

昭和の森
フォレストイン昭和館

地区及び会員の相互理解の増進と



地域医療の発展をめざして

地区だより

あきる野地区

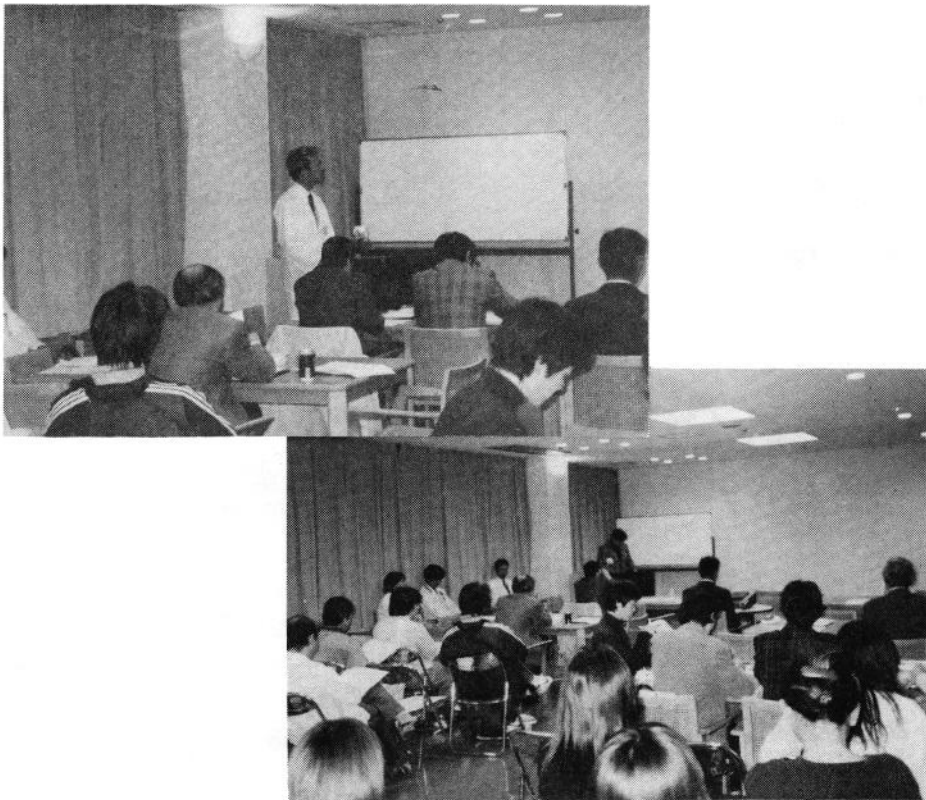
第2回西多摩心筋梗塞研究会報告

平成11年11月18日(木) 午後7時30分より阿伎留病院新館ホールにて第2回西多摩心筋梗塞研究会が開かれました。医師会会員、阿伎留病院の先生方、病院スタッフの方々50名程の出席者でホールは満員でした。研究会の世話人でもある瀬戸岡先生の司会で、先ず『心筋梗塞マーカーの臨床的意義』について阿伎留病院循環器科科長の江本浩先生より講義をしていただきました。心筋梗塞マーカーとは心筋細胞内の酵素や心筋繊維の構成成分であるCPK、トロポニン、ミオシンのことで、これらを経時的に測定することで、

1. 心筋梗塞の診断、
2. 梗塞の重症度や梗塞

のサイズの判定、3. 再灌流療法の効果の判定に極めて有意義である事を、具体的な症例で解説していただきました。又、15分で簡単に判定できるトロポニン定性検査について、その特異性の高さや簡便さで第一線の開業医の心筋梗塞診断の有効な検査法との紹介もありました。続いて症例検討に入りました。羽村の村山先生とあきる野の小机先生より2例ずつの興味深い症例の提示があり、質疑応答と江本先生のコメントがありました。最後にあきる野医師会長の小机会長より閉会の挨拶があり研究会は終了しました。

(文責：樋口)



同好会短信

ゴルフ部だより

去る11月14日、温暖、快晴、微風の絶好のゴルフ日和のなか、立川国際カントリー倶楽部草花コースで西多摩医師会ゴルフ部コンペが開催されました。新ペリア方式によるストロークプレーで行われ、結果は別表の如く、来年古希を迎えられる松原・宮川両先生が年齢を感じさせない好スコアでそれぞれ優勝・準優勝でした。

今回のコンペは平成12年4月9日(日)立川国際カントリー倶楽部草花コースでの開催を予定しております。奮って御参加下さい。
(田村啓彦)

順位	氏名	アウト	イン	グロス	ハンディ	ネット
優勝	松原 貞一	45	44	89	16.2	72.2 (バーディー賞)
準優勝	宮川 栄次	49	42	91	18.0	73.0 (バーディー賞)
3位	高水 松夫	40	41	81	7.2	73.8 (バーディー賞・ドラコン賞 ベストグロ賞)
4位	内山 大	44	49	93	19.2	73.8 (ニアピン賞)
5位	田坂 哲也	50	46	96	21.6	74.4 (ドラコン賞)
6位	田村 啓彦	49	45	94	18.0	76.0 (ドラコン賞・ニアピン賞)
7位	三井 久夫	45	52	97	20.4	76.6
8位	杉本 一	54	48	102	24.0	78.0
9位	川崎健一郎	56	55	111	32.4	78.6 (バーディー賞)
10位	真鍋 勉	55	48	103	24.0	79.0 (ニアピン賞)
11位	新井 敏彦	52	53	105	25.2	79.8 (バーディー賞)
12位	河内 泰彦	51	53	104	24.0	80.0 (ニアピン賞)
13位	林 實	51	45	96	15.6	80.4 (ドラコン賞)
14位	内山 淳子	56	59	115	33.6	81.4
B.B.	中田 芳孝	55	55	110	27.6	82.4 (ブービー賞)
B.M.	野村 中夫	57	58	115	31.2	83.8



写真部だより

11月9日から11月14日まで、羽村市コミュニティーセンターで、第24回写真部写真展が開催されました。総勢12名による54点の作品が展示され、盛況裡に終了しました。

11月15日には「割烹かつら」で写真家の桜井保秋氏をお招きして恒例の懇親批評会が開かれ、酒を酌み交わしながら一点一点について詳細に講評がなされました。

(田村啓彦)



文芸随筆諸事百般

初冠雪 鹿野純一

富士山の初冠雪がデパートの
屋上より見ゆ遠くに白く

山の端に沈む夕陽はあかね色
つるべ落しのはかない眺め

訪ね来た友の撮影仏壇用
言えばまじめに姿勢を正す

学芸会孫のせりふでほっとする
ドラマに流れる先生のピアノ

親友が秋刀魚どっさり送り来て
苦楽の思い出かけめぐりくる

銀色の秋刀魚近所に分けにいき
外は晩秋日ざしやわらか



学芸会

お知らせ

事務局より お知らせ

平成12年 1月 (12月診療分) の

保険請求書類提出日

1月8日(土)

—— 正午迄です。 ——

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

- ◎ 相談日 12月は8日(水)
1月は12日(水)の予定です。
 - ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
 - ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎ 相談料 無 料 (但し相談を超える場合は別途)
 - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

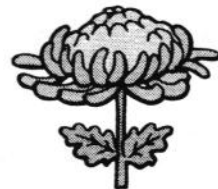
訃 報

瑞穂町石畑1682

内野 医院

内野 正 作 先生

明治40年 1月 3日生 享年92才



平成11年11月23日逝去されました。

告別式は11月25日午後12時より瑞穂町 福正寺に於いて内野利一様(義弟)が喪主となり執り行われました。

謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

表紙のことば

『雨のポンペイ』

氷雨の中、廃墟の街ポンペイの見学は二度目だった。遠くベスビオの火山は小雨の中に煙り、体中ずぶ濡れになりながら、モザイクのかけらを道端の溝の中から拾い（持ち帰ってはいけないのだ！）ポケットに忍ばせ、這這の体でバスに帰った。

内山 大

あとがき

介護保険施行を来年4月に控え、現在介護認定審査会で要介護度の審査をしています。患者さんは介護度によって月にいくらの介護サービスが受けられるかが決まるので、審査会決定は生死を決めるほどの力があります。しかし、どうも決め方に説得力がありません。認定基準時間で決めたり、中間評価項目表のパターンがどれに似ているかで決めたり、痴呆の程度で決めたり。全く動けない人、完璧な痴呆の人はむしろ「何もしないで良いから」軽いのです。そもそも患者さんの生死を我々は決められるのか。(K)

平成12年度新年賀詞交歓会

1月22日(土) 午後6時～
青梅市福祉センター



社団法人 西多摩医師会

平成11年12月1日発行

会長 宮川栄次 〒198-0044 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 神尾重則

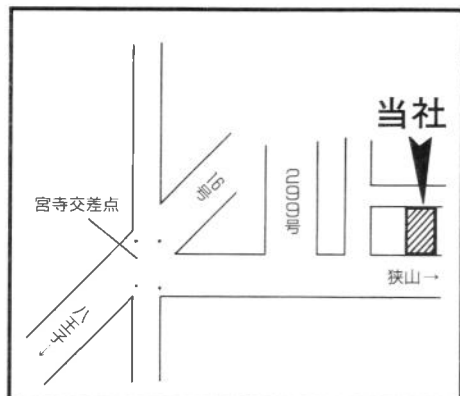
石井好明 片平潤一 清水佐和道 高水松夫

田村啓彦 樋口昭夫 横田卓史

印刷所 マスタ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

健康と未来をみつめて!!

医療機関における各種検査、学校、事業所の検診
御利用の際は御連絡下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢 309-8

TEL 0429 (64) 2621

FAX 0429 (64) 6659

健康の輝きをひろげる。



BML

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社・〒166 東京都杉並区高円寺南1-54-5 TEL.03-3316-0111(代) 総合研究所・〒350 埼玉県川越市鶴巻1361-1 TEL.0492-32-0111(代)



信頼のヒューマンリレーション。
医薬品ネットワークが結ぶ、健康への希い。

医薬品・試薬・医療機器の総合商社

 ● 東邦薬品株式会社

〒155 東京都世田谷区代沢5-2-1 TEL.03(419)7811(大代表)

最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア
保健科学研究所

本社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)
仙台支社 〒983 仙台市富城野区扇町1-3-5 TEL/022-238-9345(大代表)